

地籍問題研究会

第20回定例研究会のお知らせ

地籍問題研究会では、このたび、第20回定例研究会を下記の日程にて開催するはこびとなりました。

■ 日時 平成29年11月11日(土)13:00～

■ 会場 京都産業大学 むすびわざ館ホール(京都市下京区)

■ テーマ 土地家屋調査士の地図作成に関する新しい役割を探る

協力:京都土地家屋調査士会

■ 12:30-13:00 受付

■ 13:00-17:25 地籍問題研究会・第20回定例研究会

13:00-13:05 主催者挨拶 草鹿晋一担当幹事

13:05-13:10 開会の挨拶 安富 潔氏(京都産業大学法教育総合センター長)

■ 第1部 土地家屋調査士による地図作成の役割：進行 草鹿晋一氏(京都産業大学、当研究会幹事)

13:15-13:45 「茨木市における地図作成の土地家屋調査士の新しい役割」

報告者 森光広氏(茨木市建設部建設管理課地籍調査係非常勤嘱託職員、大阪土地家屋調査士会)

13:45-14:15 「京都市における14条地図作成作業の土地家屋調査士の役割」

報告者 水野啓吾氏(京都地方法務局表示登記専門官)

14:15-14:30 ディスカッション

(休憩)

■ 第2部 会員報告：進行 山田一博氏(土地家屋調査士、当研究会事務局次長)

14:45-15:15 「地籍調査の現場から(一土地家屋調査士の考察)」

報告者 黒田憲二氏(日本土地家屋調査士会連合会研究所研究員)

15:15-15:45 「実務上の問題点」

報告者 猪飼健一氏(日本土地家屋調査士会連合会研究所研究員)

15:45-16:15 「地積測量図と乖離した現地」

報告者 山谷正幸氏(日本土地家屋調査士会連合会研究所長)

16:15-16:45 「阪神・淡路大震災から学んだ調査士制度と業務」

報告者 藤原光荣氏(兵庫県土地家屋調査士会)

■ 特別報告

16:45-17:15 「韓国の地籍再調査の成果及び問題点と将来の課題」

報告者 申 順 浩氏(大韓民国・木浦大学校社会科学部地籍学専攻教授)

翻訳 戸田和章氏

(17:30終了予定)

◆傍聴について◆

本研究会につきましては、一般傍聴は資料代を含めて3,000円をいただきます。